



雪谷の清流

岩手県立軽米高等学校
学校通信69号
令和4年8月30日発行

・授業始め式 8/18(木)



夏休み明け、授業始め式が開催されました。校長講話では、先日引退を宣言したソチ五輪・平昌五輪の2大会連続金メダリスト、世界のトップに立ってもなお高みを目指し、飽くなき挑戦をし続けた羽生結弦選手を例に、挑戦し続ける大切さ、今学期は様々なものにチャレンジし、力を蓄えてほしいというお話を頂きました。

夏休み前、落ち着きを見せ始めた新型コロナウイルス感染症ですが、第7波が押し寄せ全国的に感染が拡大し、始め式はまたも放送で行われました。軽米町にも感染の波が押し寄せてきています。新型コロナウイルス感染症が無くなることを待つのではなく、あるのが当たり前、“With コロナ”一人一人が感染対策を行い生活するスタイルを定着させなければなりません。感染対策をしっかりと行い学校生活を過ごしましょう！ご家庭でもご協力お願いします。



・生徒会執行部発動



7月11日生徒会役員選挙が実施され、**生徒会執行部が誕生**しました。

生徒会長の三田青依さんのメッセージです。「私は軽米高校をもっと楽しく、生徒が過ごしやすい環境にしていきたいです。そのために生徒会は、今までにやっていなかったことに積極的に挑戦したり、こうすれば学校がより良くなるというような案を出し、それらを実行していけるように頑張ります。至らぬところは沢山あると思いますが、この1年間一生懸命頑張ります。よろしくをお願いします。」

後期生徒会は、“軽高祭”を始め、中高一貫クリーン作戦など大きい行事があります。生徒会執行部を中心に、生徒一人一人が精一杯取り組み、輝いてほしいと思います。

後期生徒会は、“軽高祭”を始め、中高一貫クリーン作戦など大きい行事があります。生徒会執行部を中心に、生徒一人一人が精一杯取り組み、輝いてほしいと思います。

令和4年度 生徒会役員

役職	氏名	年組
会長	三田 青 依	2年2組
副会長	外山 愛 梨	2年2組
副会長	鈴木 日 菜	1年1組
議長	高橋 茉 央	2年2組
議長	浅水 颯 太	1年2組
監査	駒目 姫 花	2年1組
監査	若山 未 来	2年1組

・メディア・コントロール週間 (8/25(木)～9/6(火))

生徒会の初仕事、これまでの「ノーメディアデー」から「メディア・コントロール」へ！この時代、IT関連のメディアを使わないことは、不可能、正しい使い方、自分を律することが大切です。呼びかけのポスターは、美術部に協力してもらい作成し、「メディア・コントロール」の周知を図っています。8月25日(木)から前期末考査最終日まで取り組みます。ご家庭でもご承知おき下さい。



・卒業生が語る会 8/23(月)



(株)小松製菓で専務取締役を務める日向正勝様(平成3年3月卒業)を迎え、1年生を対象に「卒業生が語る会」を実施しました。

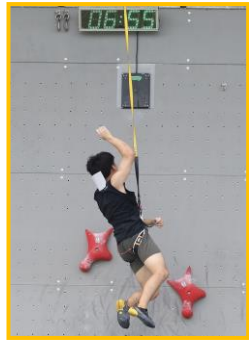
これからコース選択を控える1年生に向け、働くことの意義や社会人として大切なことなどについて講演をいただきました。



生徒は、仕事がお金を得るだけではなく生きがいや自分の成長に繋がることや他者への心遣いの大切さなどを学び、自分の進路について深く考える機会となりました。

・クライミング世界ユース選手権 第2位 1年2組 上柿 銀大 選手

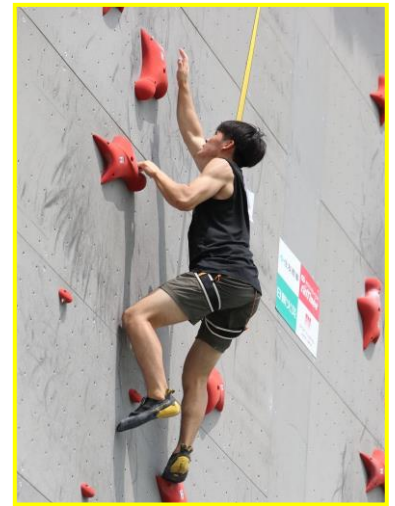
「僕は、アメリカのテキサス州のダラスで行われる世界ユース選手権に、ユース日本代表として出場してきます。3月の日本選手権から約半年間、世界ユースで3位内に入ることを目標に日々努力してきました。両親やコーチなど沢山のサポートがあってようやく掴んだチャンスなので、感謝の気持ちを忘れず、思いっきり楽しむことができます。」と8月24日に大会へ向け出発しました。



初めての国際大会で、時差による体調の変化、緊張感などあったと思いますが、練習の成果を遺憾なく発揮、目標を達成し、素晴らしい成果を挙げてくれました。心から讚えたいと思います。

上柿くんは、岩手県のスーパーキッズの10回生、“いわてからオリンピックを！”を合い言葉に、優れた運動能力を伸ばし、事業の中で出会った「クライミング」を専門種目にしてこれまで取り組んできました。

競技は、まだまだ始めたばかり、今後の活躍も期待できます。頑張ってください。



【スピード競技】選手が2人ずつ対戦するトーナメント方式。高さ15メートル、前傾5度のまったく同じ条件の壁を隣り合わせで登り、一番上にあるパネルを先にタッチした選手が勝ち。ホールドの配置も決まっているため、コマ1秒の差で勝負が決まる。

・その他特筆すべき競技記録

【陸上競技部】高総体、東北総体で活躍した佐々木菜月さんが岩手県代表として東北総体に出場しました。また中学時代、野球部だった宮川凜久さんと佐々木真菜香さん、共に高校では陸上競技部に入部、競技を始めて間もない選手たちが大活躍しました。

・第49回東北総合体育大会；佐々木菜月（3年）岩手県代表 少年女子の部 3000mSC 第3位

・第44回岩手県U16大会（Jrオリンピック岩手県予選）

宮川 凜久（1年） 男子走り幅跳び 第1位 6m45（大会新）

佐々木 真菜香（1年） 女子円盤投げ 第1位 21m68

・夏季休業中の様子

夏休み初旬、各学年とも夏季課外が開催され学力強化に努めました。特に3学年は、就職・進学希望者ともに進路目標達成に向け実力アップを図りました。



【3年生夏季課外】

【課外後の個別指導】

課外と平行してこの期間中に1年生は「進路見学ツアー」を実施し、二戸管内の企業見学や八戸学院大学見学を行い職業観・労働観の育成を図るとともに、進路選択に対する視野を広げることができました。



また2年生Aコース21名は7/26～28の2～3日間、就業体験（インターンシップ）を実施しました。軽米町内外の公共機関や事業所14カ所で接客や商品管理、事務仕事や施設管理などを体験し、社会や地域の一員としての意識や自覚を高め、自己の将来設計・進路選択に役立てました。受け入れていただきました事業所の皆様、ありがとうございました。この経験を今後の学校生活、進路選択に生かしていきます。

